



協栄J&T環境(株) 西日本PETボトルMRセンター
全面的な商業運転開始

協栄J&T環境株式会社（社長：古澤 栄一、本社：三重県津市、以下、協栄J&T環境）^{※1}が建設を進めてきたPETボトルリサイクル原料製造工場（名称：西日本PETボトルMRセンター）は、2021年10月のフレーク工場の稼働^{※2}に続き、このたび、ペレット製造ラインが竣工し全面的な商業運転を開始いたしました。

西日本PETボトルMRセンターは、協栄産業とJ&T環境のPETボトルリサイクルに関する運営実績を活かし、中部・西日本地区で初のボトル to ボトル原料の製造を一貫して行う工場^{※3}となります。

飲料メーカーおよび小売業者各社はPETボトルのリサイクル率向上（ボトル to ボトル）に向け様々な取り組みを推進しています。このようなニーズに対応し、協栄J&T環境が取り組むボトル to ボトル事業は、サーキュラー・エコミーの実現および天然資源の使用量抑制によるCO₂排出量の削減に大きく貢献します。協栄J&T環境は、西日本PETボトルMRセンターの全面的な商業運転により、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

【協栄J&T環境（株）会社概要】

- ①商号・工場名称：協栄J&T環境株式会社・西日本PETボトルMRセンター
- ②所在地：三重県津市雲出鋼管町1番地（JFEエンジニアリング津製作所内）
- ③代表者：代表取締役会長 露口哲男、代表取締役社長 古澤栄一
- ④事業内容：使用済みPETボトルを原料とし、フレークやペレットを製造
- ⑤処理能力：60千t/年
（1日あたり約1000万本、日本全国の総出荷本数の約10%を処理）
- ⑥資本金：1億円
- ⑦設立年月日：2020年4月15日
- ⑧出資者：J&T環境（株）、協栄産業（株）、（株）セブン&アイ・ホールディングス

【西日本PETボトルMRセンター】



【4月21日開所式の様子】



左から

協栄 J&T 環境株式会社 代表取締役会長 露口哲男

サントリーホールディングス株式会社 常務執行役員 サプライチェーン本部長 井床眞夫 様

株式会社セブン-イレブン・ジャパン 執行役員 笠石吉美 様

津市長 前葉泰幸 様

三重県 副知事 廣田恵子 様 (知事代理)

経済産業省中部経済産業局 資源エネルギー環境部 環境リサイクル課 課長補佐 村井雅彦 様

J F Eエンジニアリング株式会社 代表取締役社長 大下元

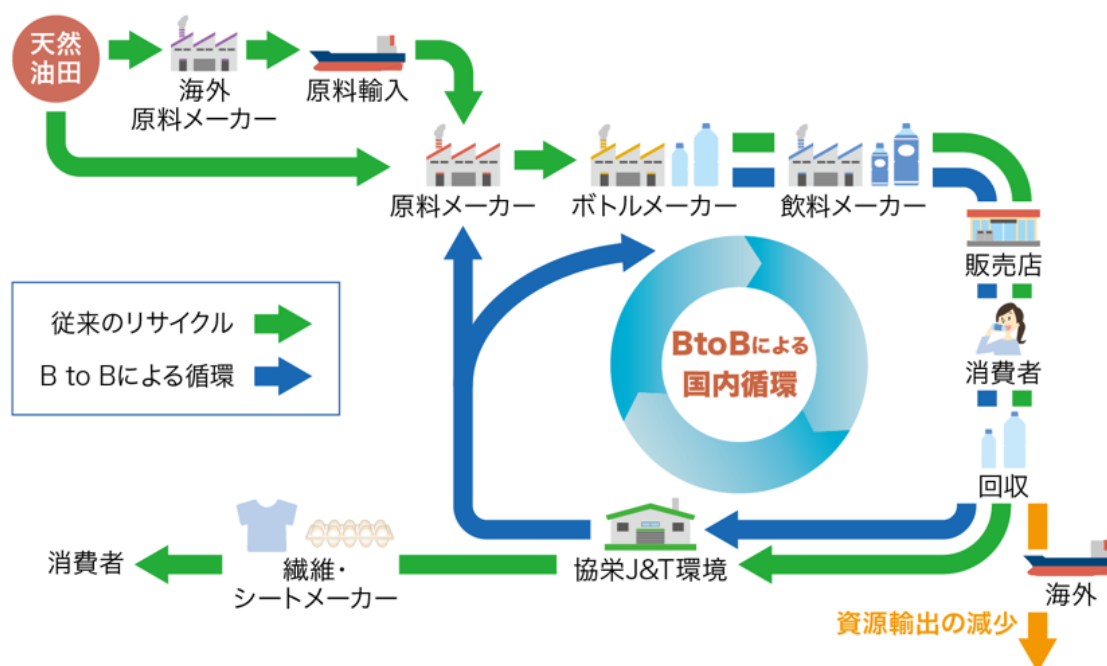
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 執行役員兼調達本部長 西口洋一 様

協栄 J&T 環境株式会社 代表取締役社長 古澤栄一

【ボトル to ボトル（B to B）によるリサイクルループ図】

- ・最先端の加工技術によりリサイクル樹脂の IV 値（粘性）回復を実現
- ・高い品質を求められる飲料用ボトルの製造で再生原料 100% のボトル製造に貢献
- ・原油由来のペレット製造と比べ約 63% の CO₂削減効果※⁴

P E T ボトルの完全なリサイクルループの実現を目指します



※ 1 : ニュースリリース 2020.5.7 <https://www.jfe-eng.co.jp/news/2020/20200507.html>

ニュースリリース 2021.6.21 <https://www.jfe-eng.co.jp/news/2021/20210621.html>

※ 2 : ニュースリリース 2021.10.21 <https://www.jfe-eng.co.jp/news/2021/20211021.html>

※ 3 : 使用済み P E T ボトルからマテリアルリサイクルによるフレーク製造の他、メカニカルリサイクルによるペレット製造を行い、飲料ボトルや繊維メーカー向け高機能繊維用としてリサイクルペレットを供給

※ 4 : 協栄産業（株）公表の三菱 U F J リサーチ&コンサルティング算出